



人権啓発標語

『ありがとう。』 そのひとことで まもられる

菊陽北小学校 1年 一門 靖恭(現在2年生)



「自分から」その一歩を

僕には二人弟がいて、一人は重度の障がいがあります。「障がいがある」と言ってもいろいろな人がいます。僕の弟のようにほとんど動けない人もいれば、見た目は僕と何も変わらない人もいます。僕は、「弟が差別されたことはない」と思っています。でも、悲しいことに、世の中には障がいのある人への差別があります。僕の弟は一生懸命生きています。世界中のみんなが、その人生を精一杯生きています。だからこそ、お互いを差別しては絶対に行けません。障がいのある方々は、私たちが普段何気なく行っている行動を同じようにすることが難しいことがあります。

「みんなが笑顔で生きる社会を目指して」

武蔵ヶ丘中学校 2年 緒方 恒太

ます。そのような「ちがいがい」から差別はうまれるのではないかなと思います。でも「ちがいがい」はみんなにありません。見た目や考え方や、家族など全く同じ人間はこの世に一人もいません。障がいのある方との「ちがいがい」もその「ちがいがい」と同じではないでしょうか？

た差別を思い出し、長く苦しむこともあるでしょう。僕自身も知らぬ間に人の心を傷つけることがあるかもしれません。誰かを傷つける前に、自分で差別に気づく人になっていきたいです。そのために僕は、相手の顔をよく見て話すこと意識しています。「あれ、少し顔が暗いな。何かあったのかな？」など、変化に気づき、声をかけたいです。また、自分自身が差別を受けた時には、きちんと相手と向き合って話し合うことで解決していきます。

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす  
第38回菊陽町人権子ども集会

入場無料

「今の自分にできることを考えてみませんか」

菊陽町人権子ども集会実行委員長 津田 陽愛

皆さんは「差別」とは何だと思いますか。私は「差別」とは間違った見方や考え方で人の心を傷つけることだと思います。

私は中学生になって人権委員会に入り、より深く「差別」について考えるようになりました。そして、もっと「人権」について知るためにこの集会に参加しました。

私はこの集会に参加して「私に何ができるだろう」と考えるようになりました。私にできることは、この集会で学んだことを他の人に広め、差別をなくす一人になることだと思います。「差別をなくす」というと

すぐ大きいことと捉える人がいるかもしれませんが、私たち一人一人の言葉や行動で変えられることがあると思います。私は今年もこの集会に参加して差別をなくしたいです。

改めて、身のまわりのこと、自分のことを考えてみませんか。皆さんの多くの参加をお待ちしています。

日時 12月3日(土) 午前9時～11時5分  
場所 各小中学校の教室などをつないでオンライン開催  
内容 各小中学校「動画」による発表・作品発表、意見交換など  
※各学校に保護者・地域の人などの参加会場設定。

学校だより 54

武蔵ヶ丘中学校

武中の第3水曜日は、  
ノースマホデー！

武蔵ヶ丘中学校では、毎月第3水曜日を「ノースマホデー」としています。以前からあった「武蔵ヶ丘中SNSルール」に、生徒総会で生徒が話し合っただけのルールです。この日は部活動がなく、自分で時間の使い方をマネジメントする「マイプランデー」にもなっており、スマートフォンなどの使用時間を考えるだけでなく、モラルや人権についても考えてほしいの思いから始まりました。生徒会執行部が前日には校内放送で、当日は昇降口前に立ち自作のポスターを掲げて全校生徒へ呼びかけの呼びかけを行っています。



全校生徒への呼びかけの様子

きくよう文芸 9月

菊陽句会報

花茗荷時(みょうが)には優(やさ)しかりし姑(はは) 紫藤 祥子  
秋日濃(あき)し木の影(かげ)写(うつ)るブラインド 曾我 育代  
名月(なづき)や竹林(たけのこ)騒(さわ)ぐ雲間(くも)から 曾我トモ子  
手を添(た)へて稲穂(いなほ)の歌(うた)や風(かぜ)少し 緒方チエ子  
雁来紅(かりかへ)独(ひとり)りをたたむ胸(むね)の内 田中 郁子  
玄閨(げん)に蠟燭(ろうそく)灯(とも)し魂(たま)迎(むか)ふ 寺尾千代子  
老妻(らうさい)の言葉(ことば)の美(うつく)しき秋(あき)の空 財津 早雪  
今(いま)しがた夕風(ゆふかぜ)ふきて黒蜂(くろはち)の障子(しょうじ)敲(たた)ける後の静(しず)もり  
午後四時(ごご4時)を過ぎても熱風(あつかぜ)頬(ほ)を差(さ)す地下足袋(じかあしぞう)はきてトマト片付(かたづけ)く  
鳴(な)き初(はじ)むる声(こゑ)涼(すず)やかなね呟(つぶ)き人(ひと)より早く秋(あき)を知(し)りしか  
人肌(ひと肌)をさす日射(ひ)射(し)の中でボール追(お)う遠(と)くに蝉鳴(せみな)く声(こゑ)の聞(き)えて  
夕風(ゆふかぜ)は広(ひろ)がる稲田(いなで)を波(な)にして処暑(しよしょ)を境(さかい)に吹(ふ)き抜(ぬ)けていく  
暑(あつ)き残(のこ)る夕暮(ゆふぐ)れの庭(にわ)に立(た)ちたれば葉群(はぐむ)に響(こ)く虫(むし)の音聞(こゑ)こゆ  
水源(みづの)にいたる小道(せうだ)の草陰(くさかげ)に黄色輝(きいろ)くツリフネの花

短歌会

有久 賢治  
梅田 國雄  
佐藤せい子  
田中 成美  
中村トシエ  
馬場 礼子  
松本 東亜